秋田大学医学部附属病院　薬剤部

薬品情報

No.410
2026/9/24
作成　薬品情報室

1. 新規採用薬品一覧
2. 採用中止薬品
3. 医薬品の一時出荷停止
4. 医薬品の出荷調整
5. 医薬品の供給再開
6. その他（トピックス）

1. 新規採用薬品一覧

［院内採用薬品］

3999:他に分類されないその他の代謝性医薬品

ネランドミラスト Nerandomilast **ジャスケイド錠 18mg** Jascayd 劇、処 日本ベーリンガーインゲルハイム **[剤]** フィルムコート錠 **[組]** 1 錠中にネランドミラストとして 18mg を含有	**[効]** 特発性肺線維症、進行性肺線維症 **[用]** 通常、成人にはネランドミラストとして 1 回 18mg を 1 日 2 回経口投与する。 なお、患者の忍容性に応じて、1 回 9mg1 日 2 回に減量することができる。	**[警] 本剤の使用は、本剤についての十分な知識と適応疾患の治療に十分な知識・経験をもつ医師のもとで行うこと。** **[禁]** 本剤の成分に対し過敏症の既往歴のある患者 **[副]重大な副作用** 重度の下痢

2242:コデイン系製剤（家庭麻薬）

コデインリン酸塩水和物 Codeine Phosphate Hydrate **コデインリン酸塩錠 5mg「シオエ」** Codeine 麻、劇、処 日本新薬 **[剤]** 素錠 **[組]** 1 錠中に日本薬局方コデインリン酸塩水和物として 5mg を含有	**[効]** 各種呼吸器疾患における鎮咳・鎮静、疼痛時における鎮痛、激しい下痢症状の改善 **[用]** 通常、成人には、コデインリン酸塩水和物として 1 回 20mg、1 日 60mg を経口投与する。なお、年齢、症状により適宜増減する。	**[禁]** 重篤な呼吸抑制のある患者、12 歳未満の小児、扁桃摘除術後又はアデノイド切除術後の鎮痛目的で使用する 18 歳未満の患者、気管支喘息発作中の患者、重篤な肝機能障害のある患者、慢性肺疾患に続発する心不全の患者、痙攣状態（てんかん重積症、破傷風、ストリキニーネ中毒）にある患者、急性アルコール中毒の患者、アヘンアルカロイドに対し過敏症の患者、 出血性大腸炎の患者 **[副]重大な副作用** 依存性、呼吸抑制、錯乱、せん妄、無気肺、気管支痙攣、喉頭浮腫、麻痺性イレウス、中毒性巨大結腸

2499:他に分類されないホルモン剤

セマグルチド（遺伝子組換え） Semaglutide (Genetical Recombination)	**[効]** 2 型糖尿病 **[用]** 通常、成人には、セマグルチド（遺伝子組換え）として 1 日	**[禁]** 本剤の成分に対し過敏症の既往歴のある患者、糖尿病性ケトアシドーシス、糖尿病性昏睡又は前昏睡、1 型糖尿

リベルサス錠 7mg Rybelsus 劇、処 ノボノルディスクファーマ **[剤]** 素錠 **[組]** 1 錠中セマグルチド（遺伝子組換え）として 7mg を含有	1 回 7mg を維持用量とし経口投与する。ただし、1 日 1 回 3mg から開始し、4 週間以上投与した後、1 日 1 回 7mg に増量する。なお、患者の状態に応じて適宜増減するが、1 日 1 回 7mg を 4 週間以上投与しても効果不十分な場合には、1 日 1 回 14mg に増量することができる。	病の患者、重症感染症、手術等の緊急の場合 **[副]重大な副作用** 低血糖、急性膵炎、胆嚢炎、胆管炎、胆汁うっ滞性黄疸、イレウス

2499:他に分類されないホルモン剤

リンザゴリクスコリン Linzagolix Choline **イセルティ錠 100mg** Yselty 劇、処 キッセイ薬品工業 **[剤]** フィルムコーティング錠 **[組]** 1 錠中にリンザゴリクスコリンとして 120.3mg（リンザゴリクスとして 100mg）を含有	**[効]** 子宮筋腫に基づく下記諸症状の改善 **[用]** 通常、成人にはリンザゴリクスとして 200mg を 1 日 1 回経口投与する。なお、初回投与は月経周期 1～5 日目に行う。	**[禁]** 妊婦又は妊娠している可能性のある女性、診断のつかない異常性器出血の患者、本剤の成分に対し過敏症の既往歴のある患者 **[副]重大な副作用** うつ状態

3969:その他の糖尿病用剤

ルセオグリフロジン水和物製剤 Luseogliflozin Hydrate **ルセフィ錠 2.5mg** Lusefi 処 大正製薬 **[剤]** フィルムコーティング錠 **[組]** ルセオグリフロジン水和物（1 錠中ルセオグリフロジンとして 2.5mg ）	**[効]** 2 型糖尿病 **[用]** 通常、成人及び 10 歳以上の小児にはルセオグリフロジンとして 2.5mg を 1 日 1 回朝食前又は朝食後に経口投与する。なお、効果不十分な場合には、経過を十分に観察しながら 5mg 1 日 1 回に増量することができる。	**[禁]** 重症ケトーシス、糖尿病性昏睡又は前昏睡の患者、重症感染症、手術前後、重篤な外傷のある患者、本剤の成分に対し過敏症の既往歴のある患者 **[副]重大な副作用** 低血糖、腎盂腎炎、敗血症、外陰部及び会陰部の壊死性筋膜炎（フルニエ壊疽）、脱水、ケトアシドーシス

2634:外用抗生物質製剤

テトラサイクリン塩酸塩 Tetracycline Hydrochloride **アクロマイシン軟膏 3%** Achromycin 処 サンファーマ **[剤]** 軟膏剤 **[組]** 1g 中に日局テトラサイクリン塩酸塩として 30mg（力価）を含有	**[効]** 〈適応菌種〉テトラサイクリンに感性のブドウ球菌属、レンサ球菌属、肺炎球菌、腸球菌属、大腸菌、クレブシエラ属、プロテウス属、モルガネラ・モルガニー、プロビデンシア属 〈適応症〉表在性皮膚感染症、深在性皮膚感染症、慢性膿皮症、外傷・熱傷及び手術創等の二次感染 **[用]** 通常、症状により適量を 1 日 1～数回、直接患部に塗布または無菌ガーゼにのばして貼付する。	**[禁]** テトラサイクリン系薬剤に対し過敏症の既往歴のある患者 **[副]重大な副作用** なし

1319:その他の眼科用剤

ネタルスジルメシル酸塩 Netarsudil Mesilate **ロープレッサ点眼液 0.02%** Rhopressa 処 参天製薬 **[剤]** 点眼剤 **[組]** 1mL 中にネタルスジルメシル酸塩として 0.2849mg（ネタルスジルとして 0.2mg）を含有	**[効]** 次の疾患で、他の緑内障治療薬が効果不十分又は使用できない場合：緑内障、高眼圧症 **[用]** 1 回 1 滴、1 日 1 回点眼する。	**[禁]** 本剤の成分に対し過敏症の既往歴のある患者 **[副]重大な副作用** 角膜上皮浮腫

[院外採用薬品]

3999:他に分類されないその他の代謝性医薬品

ネランドミラスト Nerandomilast **ジャスケイド錠 9mg** Jascayd 劇、処 日本ベーリンガーインゲルハイム **[剤]** フィルムコート錠 **[組]** 1 錠中にネランドミラストとして 9mg を含有	**[効]** 特発性肺線維症、進行性肺線維症 **[用]** 通常、成人にはネランドミラストとして 1 回 18mg を 1 日 2 回経口投与する。 なお、患者の忍容性に応じて、1 回 9mg1 日 2 回に減量することができる。	**[警] 本剤の使用は、本剤についての十分な知識と適応疾患の治療に十分な知識・経験をもつ医師のもとで行うこと。** **[禁]** 本剤の成分に対し過敏症の既往歴のある患者 **[副]重大な副作用** 重度の下痢

2. 採用中止薬品

当院採用の下記薬品について、採用中止及び切り替え薬品は以下のとおりである。

中止医薬品	中止理由、切り替え薬品
キックリンカプセル 250mg（アステラス製薬）	製造販売中止のため
ジルテックドライシロップ 1.25% （グラクソ・スミスクライン）	製造販売中止のため
テオドール錠 100mg / 同 200mg（田辺ファーマ）	製造販売中止のため
フェノバールエリキシル 0.4%（第一三共）	製造販売中止のため
ビクトーザ皮下注 18mg（ノボノルディスクファーマ）	製造販売中止のため
ブラダロン錠 200mg（日本新薬）	製造販売中止のため
ラニラピッド錠 0.05mg（中外製薬）	製造販売中止のため
アスタット外用液 1%（マルホ）	製造販売中止のため採用中止→ラノコナゾール外用液 1%「イワキ」（岩城製薬）を採用
レボトミン錠 5mg（田辺ファーマ）	製造販売中止のため採用中止 →ヒルナミン錠 5mg（共和薬品）を採用
ロスバスタチン OD 錠 2.5mg / 同 OD 錠 5mg「DSEP」 （第一三共エスファ）	製造販売中止のため採用中止 →ロスバスタチン錠 2.5mg / 同錠 5mg「DSEP」（第一三共エスファ）を採用
ビーエスエスプラス 500 眼還流液 0.0184%＜ボトル＞ （日本アルコン）	製造販売中止のため採用中止 →ビーエスエスプラス 500 眼還流液 0.0184%＜バッグ＞（日本アルコン）を採用

3. 医薬品の一時出荷停止

一時中止医薬品	出荷停止理由
プロ・バンサイン錠 15mg（ファイザー）	異物混入が確認されたため
エトドラク錠 200mg「SW」（沢井製薬）	製造遅延のため
ニフェジピン L 錠 10mg「トーワ」（東和薬品）	製造遅延のため →ニフェジピン L 錠 10mg「サワイ」（沢井製薬）を採用
注射用サイメリン 50mg（ニプロ）	原薬の製造が中止されたため

4. 医薬品の出荷調整

- **水溶性プレドニン 10mg（塩野義製薬）**…製造遅延のため
- **水溶性プレドニン 20mg（塩野義製薬）**…製造遅延のため
- **リンデロン注 2mg（塩野義製薬）**…製造遅延のため

5. 医薬品の供給再開

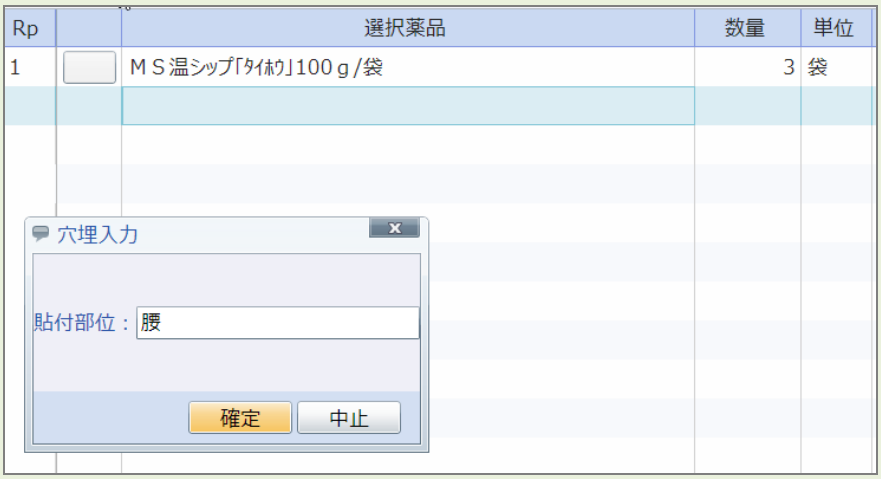
- **ラボナール注射用 0.3g（ニプロ）**
- **リザベンカプセル 100mg（キッセイ薬品）**

6. その他（トピックス）

1）外用薬における処方箋への使用部位記載に関するお願い

このたび、東北厚生局ならびに秋田市保健所の立入検査において、外用薬（湿布薬等）の処方箋記載について、使用部位のコメント入力が不足しているとの口頭指摘がございました。これまで軟膏類については、使用部位のコメント入力機能を運用しておりましたが、今回の指摘を踏まえ、湿布薬等を含む使用部位の記載が必要な外用薬についても対象を拡大することといたしました。つきましては、2026 年 9 月 17 日（木）発行分の処方箋より、使用部位コメント入力のポップアップ機能（下図参照）を導入いたします。対象となる外用薬を処方する際には、ポップアップ画面に従い、使用部位（貼付部位）をご入力くださいますようお願いいたします。

関係部署におかれましては、部署内での情報共有ならびに関係職員への周知にご協力くださいますよう、よろしくお願い申し上げます。



【問い合わせ先】
医薬品情報室（内線 6309）

2）抗悪性腫瘍薬投与日と同日のフィルグラスチム投与に関する注意喚起

【背景】

・抗悪性腫瘍薬投与日と同日にフィルグラスチムが投与された事例を複数経験している。

・一部事例では、薬剤師 2 名がそれぞれ疑義照会を行ったものの、医師判断により「投与可」とされ、同日投与に至っている。

・同日投与可能であるエビデンスはなく、安全性および適正使用の観点から投与を避ける必要がある。

【院内調査結果】

一診療科を対象に、抗悪性腫瘍薬投与日と同日の G-CSF 投与状況について調査を行った。

調査期間：2026 年 1 月～6 月

G-CSF 処方件数：99 件（入院・外来合計）

抗がん剤と同日投与となっていた件数：10 件

該当患者数：5 名

上記のとおり、半年間で G-CSF 処方 99 件中 10 件において、抗悪性腫瘍薬との同日投与が確認された。

【添付文書上のポイント】

・フィルグラスチム製剤の添付文書では、「がん化学療法剤の投与前 24 時間以内及び投与終了後 24 時間以内の本剤の投与は避けること」と記載されている。

・また、「同一のがん化学療法」とは、抗悪性腫瘍薬の種類およびその用量も同一の化学療法レジメンであるとされている。

・このため、細胞障害性抗がん薬だけでなく、分子標的薬単剤を含め「抗悪性腫瘍薬投与日だから同日投与可」とは安易に判断しない方が適切である。

【院内での基本的な考え方】

・抗悪性腫瘍薬投与日と同日のフィルグラスチム投与は、原則回避とする。

・分子標的薬単剤（例：アービタックス単剤）であっても、「分子標的薬だから同日投与可」とは扱わず、明確なレジメン規定・プロトコールがない限り原則回避とする。

・例外的運用が必要な場合は、未承認新規医薬品等使用申請書を医事課医療サービス室に提出する。

【補足】

・移植関連、AML 寛解導入療法、その他プロトコールで投与時期が明示されている場合は、その規定を優先する。

（参考：フィルグラスチム BS 注シリンジ「F」添付文書）